

防除日の変更について（号外）

平成30年3月26日
富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

1 防除日の変更について

梨の萌芽は、今冬の十分な低温遭遇などの影響により順調に進んでおり、桜の開花予想や今後の週間天気予報等から予測した梨の開花は、平年に比べ早くなる見込みです。

このことから今後の防除日を下表のとおり変更しますので、注意願います。

【防除スケジュール（吉作：「幸水」基準）】

	散布月日	薬剤名と濃度	散布量	主な対象病害虫	防除実施日 (自己記入)	
1	変更 3月28日~30日 (りんぼう脱落直前)	デランフロアブル	1,000倍	300 ℓ	黒星病、赤星病 芯腐れ症(胴枯病菌)	
2	変更 4月3~5日頃 (りんぼう脱落期)	ベルコートフロアブル ダイアジノン水和剤34	1,500倍 1,000倍	300 ℓ	黒星病、赤星病 ハマキムシ類 シクイムシ類	
3	変更 4月11~13日 (開花直前)1分咲き	スコア顆粒水和剤 ベルコートフロアブル	4,000倍 1,500倍	300 ℓ	黒星病、赤星病、 輪紋病、黒斑病 うどんこ病	
4	変更 4月19~21日 (落花直後)	トレノックスフロアブル	500倍	300 ℓ	黒星病、赤星病 うどんこ病	
5	変更 4月27~29日 (落花10日後)	マネージDF トレノックスフロアブル ハチハチフロアブル	6,000倍 500倍 2,000倍	300 ℓ	黒星病、赤星病、芯 腐れ症(胴枯病菌) ニセナシサビダニ	

2 りんぼう脱落期（第2回目）防除の留意点について

昨年、りんぼう脱落期防除のタイミングがやや早かったことから、りんぼう上に農薬が付着し、脱落后に農薬の付着が不十分な組織が現れました（下記図参照）。



その結果、黒星病に感染しやすくなり、5月初旬（幼果）の発病の原因となりました。

このことから、本年は、以下の点に十分注意して防除を実施下さい。

- 「幸水」（長果枝）のりんぼう脱落を確認した後、防除を実施すること
⇒第1回目防除後の生育状況に応じて第2回目防除日を調整してください（4月3~5日は目安）。
- 雨前散布よりも、りんぼう脱落の状況を重視すること
⇒雨前散布を優先して、りんぼう脱落が不十分なまま防除しないよう注意して下さい
- りんぼう脱落のタイミングは地域により異なるので注意すること

担い手対策に関する意向調査を未提出の方は、早めの提出をお願いします。（提出締切は3月23日でした）